



か・か・わ・看・護・だ・よ・り 111

令和2年10月20日

令和2年10月20日現在 会員数
7,551名

- 保 健 師 207名
- 助 産 師 281名
- 看 護 師 6,858名
- 准看護師 205名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4
TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071
<https://kagawa-kango.com>
発行責任者／安藤 幸代

高松シンボルタワー ブルーライトアップ

ブルーライトアップは、新型コロナウイルス感染症の最前線で日夜奮闘されている医療者に感謝の気持ちを伝えようと、イギリスではじまったものです。国内・県内でも医療従事者に感謝の意を伝える動きが広まりました。「看護の日」が含まれる5月から高松シンボルタワーもブルーライトアップされています。



《目 次》

令和2年度職能委員会活動報告／令和2年度支部活動	2	へき地診療所シリーズ 第4回	7
新型コロナウイルス感染症に関すること	3	訪問看護ステーションこくぶ 新築工事開始	7
2020年ふれあい看護体験	4	理事会報告	8
災害支援ナースフォローアップ研修を開催して	5	第51回(2020年度)日本看護学会学術集会Web学会参加者募集中	8
訪問看護入門研修を受講して	5	令和3年度改選役員および推薦委員への立候補並びに推薦について	8
看護師の特定行為研修シリーズ 第5報	6	お知らせ	8



安藤会長あいさつ

保健師職能委員会 委員長 香西真由美

今年度も2つの検討会で活動しています。人財育成検討会では、今年度から新任保健師を対象とした研修会を開催しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、開催時期が当初の予定より遅れましたが、9月29日に第1回目を開催しました。また、子育て世代包括支援検討会では、妊娠期からの切れ目のない支援に向けた周産期メンタルヘルスケア研修会を10月25日に開催する予定で、現在準備を進めています。皆様の参加をお待ちしています。



〔新人保健師研修風景〕

看護師職能委員会Ⅰ 委員長 熊野 知恵

今年度の活動目標は、①「看護補助者との協働の推進」②「看護師クリニカルラダー（JNAラダー）活用の推進」です。

①については、各病院における看護補助者の教育制度や看護補助者への意識調査の実施、②については、看護師職能Ⅱとの合同交流会開催に向けて準備をすすめています。交流会を通して、各施設が抱える課題を共有しラダー推進のヒントとなればと思いますので、ご参加、ご協力よろしくお願ひいたします。

助産師職能委員会 委員長 竹内美由紀

コロナ禍の中、関係施設のご理解を得て、今年度も12名の新人助産師を迎える、8月22日から新人助産師研修会を開催しています。感染対策と健康チェック、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施しました。各自、研修目標を設定、学びと自己課題を明確にし研修を進めています。自分の目指す助産師像に向かい、仲間と共に楽しく学びを深めてほしいと思います。半年後の成長を委員一同楽しみにしています。



〔新人助産師研修風景〕



看護師職能委員会Ⅱ 委員長 山西 育子

今年度の活動目標は、①介護施設等における看護師の看取り研修および看護管理者研修の企画・運営・評価、②介護施設における看取りガイドライン及びクリニカルラダーの活用促進、③介護施設における看護の質向上及び機能強化、入会促進への働きかけ、④関係機関との連携です。

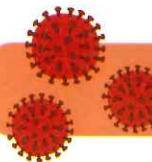
令和2年11月に高齢者介護施設の管理者・職員を対象とし「ACP」をテーマに看取り研修会・交流会を開催します。ACPについての講演や看取りとACPの実践報告を予定しています。また、クリニカルラダーの普及促進のために、看護師職能委員会Ⅰならびに訪問看護推進委員会との合同研修会を開催予定です。新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ人数制限を設けておりますが、ご参加をお待ちしています。

令和2年度 支部活動

各支部においては、新たな役員を迎えて、令和2年度の事業計画により活動を展開する予定でしたが、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止のため止むを得ず行事の中止や延期となっております。

withコロナの時代、感染防止対策に配慮しながら、各支部では今年度後半の取り組みを考えておりますので、今後ともご協力・ご支援をお願いいたします。なお、香川県看護協会のホームページの「協会概要」「支部活動」に支部活動報告として理事会時の報告内容を載せております。役員会や交流会など予定も含めて7つの支部の状況をまとめています。

一度ご覧になってください。



新型コロナウイルス感染症に関するここと

新型コロナウイルス健康相談センターでの相談業務や軽症者等宿泊療養施設における健康観察業務について、香川県から受託し、香川県ナースセンターから紹介の看護職や医療機関の看護職の方々にご協力をいただき実施しています。今回、各々の業務に従事いただいている方々から、近況報告をいただきました。

新型コロナウイルス健康相談センター相談業務に従事して

センター従事者 池田 哲代

香川県新型コロナウイルス健康相談センターは5月18日に開設され、24時間体制で運営しています。県内5つの保健所に設置していた相談窓口を一本化したもので、香川県、高松市、香川県看護協会や在宅保健師会の保健師や看護師などが対応しています。発熱など症状のある方から電話相談を受け、症状や県外滞在など行動歴から感染のリスクがあると判断した場合は、帰国者・接触者外来や発熱外来への受診調整を行っています。感染のリスクは比較的低いと考えられる場合は、かかりつけ医や近医の受診を案内しています。

県内で新たな感染が続いた7月下旬から相談件数は増加しました。そのため8回線でも電話対応ができず、回線が空き次第こちらから電話を入れるという対応を取った時間帯もありましたが、その後の相談件数は減少傾向です。また、PCR検査を希望する相談に対しては、医師や保健所から検査が必要と判断された感染疑いのある方や濃厚接触者に行政検査として行っていることなど、県内の検査体制を説明しご理解をいただいているいます。

厚生労働省は、冬の新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、発熱など症状のある方が健康相談センターに相談する現在の流れではなく、まず近くの診療所やかかりつけ医に電話で相談し、そこが新型コロナに対応していれば受診、対応していない場合は対応できる医療機関を紹介してもらうなど、受診手続きを変更すると発表しました。香川県でも新体制に向けて検討が進められており、現在のセンターの機能がどのように変更されるかわかりませんが、今後も引き続き、住民の方々からの相談に適切かつ迅速に対応するなど相談の質の向上に努め、後方からではありますが新型コロナウイルス収束に向け看護職として関わっていきたいと思います。

相談件数

5月18日～9月30日

延べ件数 7,999件

1日最大件数

172件(7月20日)

(受託分の実績)



センター

新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設における健康観察業務に従事して

香川大学医学部附属病院 阿部 慶

香川大学医学部附属病院は、新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設における健康観察業務に協力をさせて頂いております。

宿泊療養支援業務は、新型コロナウイルスの感染が認められたけれども無症状又は比較的軽症な方が入所し療養されます。日勤帯は1名、夜勤帯は2名の看護師が輪番で入所者の健康観察を行います。看護師は入所の方と直接対面せずに業務を行うため、電話での声のトーンに留意し、できるだけ細かく症状を確認します。新型コロナウイルス感染症は、症状が急に重篤化することが指摘されており、入所者の状態に少しでも変化がある時は、医師やロジスティクス班と速やかに情報を共有し、緊急時に向けた対応を検討します。軽微な症状の変化を見逃さないことで、そして医師やロジスティクス班との連携により、早期に健康回復へのサポートができるよう緊張感の高い中で業務を行っています。また、療養中は外出が制限されるため、室内での簡単な運動を勧めるとともに、入所者のストレスを少しでも和らげることができるよう優しい対応を心がけています。



防護衣 着脱訓練の様子

現在、誰もが経験したことのない、新型コロナウイルス感染症への対応が求められています。看護職者がそれぞれの専門性を發揮し、行政との連携を強化することで、香川県民の身体と心の健康を守ることができるよう、引き続き協力していきたいと思います。

2020年

ふれあい看護体験

今年も、「看護の日・看護週間」や夏休み期間中に、県内各地域の医療機関や訪問看護ステーション等で“看護の心”を伝えるイベントとして「ふれあい看護体験」を37か所で計画していました。しかし、新型コロナウイルス感染の収束がみえず、やむを得ず中止または保留・延期の形を取らざるを得なくなりました。結果として、9月末現在、32か所が中止、保留1か所、実施4か所56名の参加になりました。

次年は、また新しい生活様式の中でこの事業が取り組まれ、参加者が一人でも将来「看護の道」を選択していただけるような事業展開ができればと願っています。

高松平和病院

副総看護師長 吉原由美子

今年のふれあい看護体験は当初5月に30名の募集で予定していましたが、コロナ禍ということで8月にオンラインでの実施に変更しました。8月の2日間で高校生45名の参加があり、また8月には例年「高校生の1日体験入学」を実施しており、2つの事業を併せて4日間で117名の参加がありました。Zoomを用いてスライドと画面を切り替えながら、看護師の仕事内容や「おうちでできる基礎看護技術」を説明してきました。学生からの質問は、従来のやり方の時と同じように活発に出され、看護師が答えてきました。

初めての試みでZoomの操作等何度も練習し本番も緊張しながら、オンラインで看護のやりがいが伝わるか心配でしたが、LINEでお願いした感想からは「改めて看護師になりたいと強く思いました」という感想が多く寄せられ、看護の魅力をお伝えすることができたと感じました。

今後も遠方で参加できにくい方や時間制限のある方のために、対面とオンラインの両方での看護体験の実施を検討していきたいと考えています。



坂出市立病院

副看護部長 大林 美香

8月4日(火)高校生7名を対象に、3密対策を行いながら、ふれあい看護体験を開催しました。2週間の県外外出制限、体調管理、保護者の許可を参加要件としました。手術室での見学や鋼製小物の説明、感染管理認定看護師による手洗いに関する講義と実践、HCUでは患者体験をしてもらいました。「患者体験をしてみて声かけの大切さに気づいた。」「今後、看護の道を目指そうと思う。」などの感想を聞くことができ、看護の進路選択への一助となる学習になったと思いました。



香川県立丸亀病院

看護部長 小西佐登美

今年のふれあい看護体験はいつもと違うコロナ禍の中での開催となりましたが、看護師を目指す高校生3名が参加しました。まず、コロナを意識してブラックライトによる手洗いチェックとガウンテクニックを体験していただきました。

その後、マスクとフェイスシールドを着用してデイケアを体験しました。初めは精神科に対する怖いイメージや不安があったようですが、利用者さんが温かく優しく接してくれたおかげで、全員「精神科のイメージが変わった」と話してくれました。また、ゲームなどの体験を通してコミュニケーションの大切さや「精神科では自分自身が看護の道具になる」という学びもあり、ますます看護に魅力を感じてくれたようです。これからも、将来の夢への第一歩を踏み出せるように看護の魅力を伝えたいと思います。





災害支援ナースフォローアップ研修を開催して

災害看護対策委員会 委員 中妻 征子（香川大学医学部附属病院）

9月7日（月）に今年度の支援フォローアップ研修を開催し、59名の参加がありました。

この研修は災害支援ナース養成研修（基礎編・実務編）を修了し、災害支援ナースに登録した方を対象に、毎年開催しています。

今年度は、香川県健康福祉総務課医療主幹の横山勝則医師を講師にお迎えしDHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）の組織概要と活動内容を学びました。DHEATと災害支援ナースとの連携・協働をサッカーチームにたとえ、受講生が具体的にイメージしやすい講演でした。

また被災地支援は、支援チームが引き揚げた後で「現地チームが対応できるように主導権を持たないこと」「自分の支援を無力と評価しないこと」の心構えを再確認できました。

講演後、災害看護対策委員より、今年度改正した災害支援ナースハンドブックを基に、災害支援ナースの役割を説明しました。災害支援ナースハンドブックは香川県看護協会HPに掲載予定です。コロナ感染拡大など自然災害以外の災害も頻発している昨今、より広い知識を持ち活動できる災害支援ナースの育成を今後も行っています。



災害支援ナースとして活動するには



訪問看護入門研修を受講して

直島町立診療所 堀内ゆかり

8月29日（土）と9月17日（木）の2日間で訪問看護入門研修を受講しました。今回研修に参加した理由は、訪問看護に興味があり、また今年度から訪問看護を始めるため、まずは基礎を学びたいと思ったからです。

研修では、在宅で自分らしい生活を送りたいという利用者と家族を支える訪問看護師の役割や、地域包括ケアの基礎と制度について講義がありました。実際に事例について考え、訪問看護での対象者を捉える視点について学ぶことができました。訪問看護の経験がない私にとって、現場の意見を聞きながら訪問看護の考え方につれて触れることができ、有意義な研修となりました。



疾病・障害を抱えながら、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで継続できるようその人の思いに寄り添い、今、何が必要か、その人の全体を捉えアセスメントし、支え繋ぐ力が求められることは、訪問看護の魅力だと考えます。今回の研修で学んだことを、今後の活動に活かしていきたいと思います。

◆ 看護師の特定行為研修シリーズ 第5報

看護だより第107号で「特定行為研修を修了した看護師の実践報告」を第4報まで掲載させていただきましたが、今回は特定行為研修指定研修機関の高松赤十字病院西村院長に「看護師の特定行為研修制度」について寄稿をいただきました。

看護師の特定行為研修制度について考える

高松赤十字病院 院長 西村 和修

私の専門は一貫して心臓血管外科である。私自身はICUでの患者管理に長く携わってきたこともあります。ICUで頼りになる看護師がいると大変助かるというのは私に限らず他の心臓外科医も実感している。

平成22年、日本外科学会が労働環境調査を行ったところ、周術期管理について、医師の仕事をかなりの部分代行している米国のNurse Practitioner (NP) やPhysician Assistant (PA) の職務が紹介されて、日本でも導入すべきとの声があがった。ほぼ同時期に厚労省と日本医師会により看護業務実態調査が行われ、調査結果から医師法や保助看法に規定されている「診療の補助」の範囲を超えていた行為や処置が少なからず一般看護師により実際に行われていることが判明した。

また平成23年の厚労省チーム医療方策検討WGで日本心臓血管外科学会の高本理事長は「チーム医療」の重要性を指摘し、医師は万能でないこと、特に看護師がもっと自立し、それぞれが自立した上で連携すべきである、と報告した。

しかし、医療行為と法律の解釈にも時間を要した。そうした議論、紆余曲折を経て平成27年看護師の特定行為研修制度が始まった。5年を経てようやく一步を踏み出したというのが正直な感想である。特定行為が細かく区分されており、それぞれに研修、手順書、評価などが細かく設定されている。この研修を受ける看護師さんの努力には本当に敬服する。



[院長からエールを受ける修了生]

ただ、現在の区分化された行為だけでは、上記のような自立・連携を担う特定看護師像からはまだ距離がある。パッケージ研修の導入が昨年から議論されてきており、区分だけでなく、周術期管理がパッケージ化されたほうが、効率良く、看護師の自主性も高まるであろう。

モチベーションが高く、能力のある看護師が育っていくことに私は大いに期待している。規制がある中で、少しずつ理想に近づいていくことを願ってもいる。私の立場でできることあれば、いつでも声をかけてください。

医療行為が必要な患者さんが安全に地域に帰れるようサポートしていきます。

患者さんを中心としたチーム医療の推進のために調整役として頑張ります。

修了生のコメント



香川県の特定行為研修を行う指定研修機関

- 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
- 高松赤十字病院
- 国立大学法人香川大学

※詳細はホームページでご確認ください。

へき地診療所シリーズ 第4回



さぬき市民病院

看護部長 赤松美智代

さぬき市国民健康保険直営多和診療所は、徳島県県境付近の山奥、四国靈場第88番札所結願寺の靈場「大窪寺」への遍路道沿いにあります。多和地区は、高齢化率56%、人口約430人（206世帯）で、高齢化や人口減が深刻な地区です。

さぬき市民病院では、へき地医療拠点病院として医師と看護師を派遣していましたが、ここ数年の医師不足により、看護師のみの派遣となっています。診療は火曜日の午後と木曜日の午前に行っており、当院では火曜日を担当しています。診療所を訪れる患者さんは、3～8人、80～90歳代の高齢者です。「一人になってもこの地域にいたい」「多和地区から離れたくない」という高齢者などにとって、無くてはならない大切な場所です。診療所を訪れた折には、情報交換したり、ひと休みしたり、ちょっとしたコミュニティーの場となっています。

診療所までは、四季折々の景色が目を楽しま

せてくれますが、これから迎える冬の時期

は雪や路面の凍結など、山は時に厳しい表情を見せます。しかし、住み慣れた場所で人生の最後まで自分らしく暮らしたいと願う高齢者の方たちが、「安心して1日でも長く自宅で暮らせるよう支援したい」という想いで多和診療所に職員を派遣しています。



訪問看護ステーションこくぶ 新築工事開始

待望の棟上げ11月3日に！

訪問看護ステーションこくぶ 所長 安部美枝子

2019年度の定時総会で新築の議案が承認された後、今年初めに設計事務所を決定し、木造2階建ての社屋で、1階に居宅介護支援事業所、2階に訪問看護ステーションとネットワークセンターを設置することにしました。

8月31日（月）に地鎮祭を行い、9月より工事が開始されました。コロナ禍の中、当初の工程表より、少し遅いスタートとなりましたが、11月3日（火）上棟、建築完成・引き渡しは今年度3月末の予定です。建設場所が第3駐車場から、中ホールの西側に変更し、研修受講者や委員会にご出席



の皆様には、ご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳なく思っていますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

理事会報告

第4回 令和2年10月10日(土) 9:00~11:30

●協議事項

- 令和2年度事業報告(4月~9月)(案)(承認)



参加者募集中

第51回(2020年度)日本看護学会学術集会Web学会

- 参加受付: 2020年10月1日(木)~11月15日(日)
 - 開催期間: 2020年11月1日(日)~11月30日(月)
 - 参加登録: 日本看護学会特設Webサイトから申込み
 - 参加登録費: 会員9,900円、非会員14,850円、学生4,400円
- ※ 参加者にはコングレスバックをお届けします。

令和3年度改選役員および推薦委員への立候補並びに推薦について

選挙管理委員会・推薦委員会からのお知らせ

令和3年6月に開催される定時総会において、令和3年度改選役員および推薦委員の選挙を実施します。立候補並びに推薦の受付期間などについてお知らせします。

なお、役員辞任に伴う追加公示はホームページで行います。

■改選人数と役職名

1. 役員 12名

- | | | | | | |
|----------|----|-------------|----|-----------|--------------|
| 会長候補者 | 1名 | 副会長候補者 | 1名 | 常任理事候補者 | 3名 |
| 職能理事候補者 | 2名 | (保健師、看護師II) | | 地区支部理事候補者 | 3名(第2・4・5支部) |
| 全支部理事候補者 | 1名 | 監事候補者 | 1名 | | |

2. 推薦委員 3名

■受付期間など

立候補される方は、会員10名以上の推薦(定款細則第7条1項)を受けて、届出用紙を選挙管理委員長あてに届け出でください(郵送可)。

推薦を行う場合は、所定の用紙に記入のうえ推薦委員長あてに届け出でください(郵送可)。

届出用紙は香川県看護協会にお問い合わせください。

[送付先] 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会選挙管理委員長宛(親展)または推薦委員長宛(親展)

[提出締切日] 令和2年12月20日(日) *当日消印有効

お知らせ

専門職能団体 看護協会への入会を!!!

今後の研修会・記念行事等の
変更・中止につきましては、
公式ホームページでお知らせいたします。

1 研修案内

1 令和2年度介護施設等における看取り研修会 ～ACPの基本と看護職の役割～

日程: 令和2年11月14日(土)10:00~12:30
募集: ~10月31日(土)

2 令和2年度看護師職能委員会合同交流会 「やってみようクリニカルラダー」

日程: 令和2年11月28日(土)13:00~15:30
内容: 各施設でのクリニカルラダーの取組み
の発表と意見交換会
募集: 令和2年11月10日(火)~11月24日(火)

3 看護管理者研修会

- 看護職資格の活用基盤強化を考える会
 - テーマ: 2040年の看護に求められるものとそれに応える資格管理制度のあり方
 - 対象者: 看護職
 - 日程: 令和2年12月14日(月)13:00~17:00
 - 方法: 集合研修でweb
 - 主催: 公益社団法人日本看護協会
 - プログラム: 香川県看護協会ホームページ参照
 - 募集: 11月30日(月)~12月9日(水)

2) 看護管理者として香川県の保健医療の動向をもとに自施設のありようを考える

- ・テーマ: 香川県の保健医療の動向
- ・講師: 香川県健康福祉部医務国保課
課長 尾崎 俊史
- ・対象者: 看護職
- ・日程: 令和2年12月19日(土)10:00~12:00
- ・方法: 集合研修
- ・募集: 12月1日(火)~12月16日(水)

2 2021(令和3)年度 継続手続きが始まります!!

皆さまのお手元に11月から順次「2021年度継続のお知らせ」が届きます。

届きましたら内容をご確認くださいようよろしくお願ひいたします。

*勤務先で登録をしている方は「所属施設」へ、個人会員の方は「自宅」に届きます。

編集後記

もみじの花言葉は「節制」「遠慮」「自制」だそうです。
もみじは「葉」というイメージですが実は春には小さな赤い花が咲きます。
来年、春は赤い花を探しに行きませんか?



写真提供: 宮武千明 様